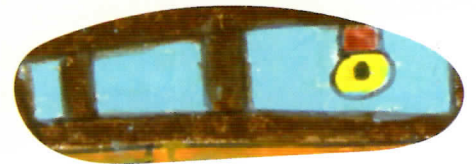


2019.10.1/Vol.17
芽吹く未来へ
SSIST



社会福祉法人 萌葱の郷
自閉症・子育て総合支援センター





保育・教育・支援の 理想実現を目指して

理事長 五十嵐 康 郎

自閉症療育(対人支援)において重要なのは「ハート」「サイエンス」「アート」ですが、「ハート」は相手の気持ちを思いやり、相手の立場に立つことだと思います。「サイエンス」は先人たちの理論や実践に学ぶことだと思います。

「アート」は実践を通して即興的に支援者として最良の役割を演じることだと思います。

対人支援の仕事は独善的な考え方や不注意から利用者の人権を侵害したり、重大な事故を引き起こすことがあります。人は弱い存在ですから、過酷な労働条件や理不尽な体験をすることで、虐待や人命にかかわる大きな事故や事件を引き起こす可能性があります。

萌葱の郷では、朝礼で大分県知的障害者施設協議会の倫理綱領を唱和してきました。「個人の尊重」「人権の擁護」「社会参加の推進」「守秘義務の遵守」「専門性の向上」の5項目でしたが、「合理的配慮」「安全・健康への配慮」を付け加えて法人独自の倫理綱領を策定し、合わせて「行動理念」と「保育・教育・支援の原則」を策定しました。

「保育・教育・支援の原則」を通して、萌葱の郷の理念を紹介したいと思います。

1. 安心感と信頼関係に基づき、清潔で快適・安全な生活環境を提供する。
2. ごく当たり前の生活（ノーマライゼーション）と個別的な配慮を保障する。
3. 手ごたえの持てる活動や外出の機会を通して社会性や意思決定を育む。
4. 利用児・者の真のサポーターとなり、愛情を持って見放さない。
5. 個別支援計画に基づいて、余裕のある日課（ルーティン）を組み立てる。
6. 遊び、生活、活動等での相互作用を通して、共感性や社会性を育てる。
7. 特定の療育理論や技法に囚われず、幅広く学んで実際の場面で応用する。
8. 行動の現象面だけを捉えず、環境や心理面での原因や背景を考察する。
9. 支援に当たっては、記録 → 分析 → 仮説 → 実践 → 検証を繰り返す。
10. 職員の勤務負担の軽減を図り、過労やメンタルに配慮する。
11. 事例検討を重ねて支援方法を統一し、チームとして支援する。
12. 職員自身の感情をコントロールし、穏やかで肯定的な態度で接する。
13. 利用児・者の立場に立って、常に自らの支援を振り返り検証する。
14. 丁寧に説明するなど、折り合いがつけられるように関わる。
15. 医療と連携し、脳科学や神経生理学などの新たな知見に学ぶ。

働き方改革が叫ばれていますが、当法人は劣悪な労働条件の下で優秀な人財は育たないとの信念から職員処遇の向上に努めています。私たちの目標は子育てや自閉症を始めとする障がいのある方への保育・教育・支援の理想を実現することです。

素朴でひたむきで魅力的な子どもたちや自閉症の人たちと出会うこと、人を大切に思うことは、自分を大切にすることもできます。理想実現を目指して仕事ができることはとても幸せなことだと思っています。

出張！省吾連 はじめました

平成30年11月17日～11月25日の間、大分市美術館で『省吾連』が開催されました。大好評の中、幕を閉じた省吾連でしたが、「またやりたい！」「やってみたい！」との要望にお応えして、当法人のなかよしホールで『出張！省吾連』を開催しました。

開催期間中は子ども園や生活介護利用者の方も楽しむ姿がありました。今後もたくさんの方に作品に触れて頂ける機会を設けていきたいと考えています。「やってみたい！」と興味のある方は、めぐき園までご連絡ください。

いぬかい子ども園のさくら組さんとの交流をかねて省吾連に参加しました。最初はこざいの友だちと遊んでいたのですが、時間が経つといぬかいの友だちと一緒に工夫することや力を合わせるなどのごっこ遊びに発展し、楽しむ姿も見られました。

省吾さんの一つ一つの作品は子ども達の想像力が膨らみ色々なパーツを組み合わせた作品ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

こざい子ども園 5歳児担当 佐藤 瑠美



作品を組み合わせて
家を作るのが
楽しかった。
先生と一緒にできて
うれしかった。

どんこの里いぬかい
武井のぶみ



いろいろな色を使って
奥深くて楽しかった。
来年も行きたい。

どんこの里いぬかい
西原 義朗



このような当たり前の初歩的なことではありますが、初心を忘れず取り組むことが大切だと思っています。自閉症療育は、何年務めても終わりのない、成長し続けることのできる素晴らしい仕事だと私は思います。

「私の療育論」との題材を頂いたところで、いろいろなことを考えましたが「療育論」と一言でまとめるのも難しいと思っています。せつかくの機会ですので、私が自閉症療育に携わる上で一年目から大切にしてきたことが2つあるので紹介させていただきます。

1つ目は、「相手の立場に立つて考える」ということです。利用者のとっている行動は、不思議な行動が多々あります。ジャンプし続ける、大声を出す、寝転ぶ、服を破く、自分を叩くなど。この時、「どうしてこんな行動をするのだろう」と考える視点が重要だと私は考えています。きつと何らかの意味があるのでしようが、ここで相手の立場に立つて考えることが出来ないと、課題行動を「課題」としてしか捉えることが出来ず、何の解決にもなりません。何度も服を脱ぐ利用者者がいました。「かわりだよ。」と言われると、そこで支援は終了ですが、利用者の立場に立つて考えた時に、「この服は毛玉が多いから、皮膚に触れた時に嫌なのかも」といった視点を持つだけで、支援は変わるのではないのでしょうか。また、この「相手の立場に立つて考える」ということは、職員間でも必要な視点です。相手の立場に立つて考えることが出来れば、お互いを労い、尊敬しあえると思っています。

2つ目は、「支援を振り返る」ということです。自閉症療育に長年携わっても、振り返る視点を持つてなければ、支援者としての成長はありません。どんな小さな関わりでも、振り返り、考え、自問自答することでいろいろな視点を持つことが出来るからです。支援の仕方は一通りではありません。「今回うまくいったけど、もう少しうまくいってなかったら」「自分ではない職員の時はどうだろう」といった視点を持つことで様々な場面に対応できるようになることや、たくさんの視点を持つことが出来ると思います。



私の療育論

「初心を忘れなさい」

障害者支援施設 めぐき園
支援係長 能一 由起子

虐待防止委員会の取り組み

平成2年9月に社会福祉法人萌葱の郷が設立され、もうすぐ30年です。事業所の数も13事業所に増え、職員数も200名を超える法人となりました。現在萌葱の郷は、自閉症・子育て総合支援センターとして、保育、教育、子育て支援、早期療育、生活支援、就労支援、余暇支援、相談支援、普及啓発、専門家養成等の機能をライフステージを通して総合的に提供することで、障がいのある無しに関わらず共に暮らせる共生社会の実現を目指すことを基本理念として事業運営を行っています。平成26年からは、更なる職員一人ひとりの高い専門性を確保し、虐待防止に対する正しい判断や意識付けを行ってもらうために虐待防止委員会を設立しました。委員会として、以下の三つの取り組みを具体的に実施しています。

①虐待防止チェックリストの作成

- 身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、ネグレクト、経済的虐待の項目に分類し、年3回、自らの業務についての振り返りを行い、解決・改善に向けて必要な対応を具体的に整理しています。

②研修を企画・実施

- 専門職としての責務を自覚し、絶えず研鑽するために年1回、研修を企画・実施しています。

～実施した研修内容～

- ◆利用者本位から始める虐待防止
- ◆アンガーマネジメント入門講座
- ◆障害者差別解消法の出前講座
- ◆合理的配慮について
- ◆虐待についての法制度と
福祉事業所・子育て支援機関の対応



③新倫理綱領の作成

2016年4月に制定された障害者差別解消法や人々の人権意識の高まり、個々の価値観の多様化等により、私たち福祉職や保育職は多くの倫理的課題に直面するようになってきました。

一般企業からの福祉や保育業界への参入など新たな時代の到来を感じる中で、より高い専門性や、質の高い支援を提供するためには、深い知識と専門的な技術だけでなく、高い倫理性が不可欠です。そこで私たちは、専門職として自らの行動を律するために、「社会福祉法人萌葱の郷の倫理綱領」を定めています。倫理綱領は、法人職員一人ひとりの行動を規定するものであり、専門職として欠かせないものだと考えています。

法人内だけでなく社会に向けての約束として

新倫理綱領

1、個人の尊重

私たちは、利用児・者本位の立場から、一人ひとりの個性と自己決定を最大限に尊重し、主体的に生きられるよう支援します。

2、人権の擁護

私たちは、利用児・者に対するいかなる差別、暴力、虐待、人権侵害も許さず、人としての尊厳を守るために細心の注意を払います。

3、合理的配慮

私たちは、利用児・者一人ひとりの特性や、場面に応じて生じる社会的障壁や、生きづらさを取り除くため、合理的配慮を実践します。

4、安全・健康への配慮

私たちは、災害への備えや環境・保健・衛生などの向上に努め、利用児・者の生命を守り、心身の健康が維持・向上するよう支援します。

5、社会参加の推進

私たちは、利用児・者が年齢や障がいの状態などに関わりなく、地域社会を構成する一員としての市民生活が送れるよう支援します。

6、守秘義務の順守

私たちは、利用児・者のプライバシーを尊重し、職務上知り得た個人の情報や秘密を守ります。なお、退職後もその義務を負います。

7、専門性の向上

私たちは、専門職としての使命と役割を自覚し、利用児・者が豊かで充実した人生が送れるよう、人間性と専門性の向上に努めます。

行動理念

- 1 運営方針や事業計画は、定期的に利用児・者、保護者・家族に説明し、意見や要望を聞く機会を設けて、その意思を反映する。
- 2 個別支援計画や支援内容は、必ず利用児・者、保護者・家族に説明し、意見や要望を聞いたうえで、同意のもとに行う。
- 3 保育や教育、支援に当たっては、十分に利用児・者、保護者・家族に説明し、選択と自己決定の機会が得られるようにする。
- 4 利用児・者に対しては、年齢に応じた呼称や接し方を徹底し、一人ひとりに寄り添い、好みや嗜好、感性を尊重する。
- 5 利用児・者に対しては、偏見や先入観を持たず、公正・公平に接し、丁寧な関わりを心がけ、敬意を持って支援する。
- 6 常に災害や事故などに対する備えを見直し、全職員に周知することで、全職員が一体となつて的確かつ迅速に行動する。
- 7 法令・社会規範・社会的倫理を遵守し、危機管理やヒヤリ・ハットに取り組み、事故などの不測の事態を未然に防止する。
- 8 利用児・者の健康管理に細心の注意を払い、必要に応じて適切な医療が受けられ、健康的な生活が送れるよう努める。
- 9 地域の文化や生活習慣を反映した、年齢にふさわしい暮らしを保障し、あらゆる場面で社会参加の機会が得られるよう努める。
- 10 地域ボランティアや実習生を積極的に受け入れるなど、地域社会との交流を図り、理解を深めて、開かれた施設づくりに努める。
- 11 利用児・者の個人情報の管理を徹底し、情報の共有に際しては、その秘密を保持するよう最善かつ細心の注意を払う。
- 12 専門職者としての責務を自覚し、倫理と専門性の確立にむけて、絶えず検証・研鑽し、職員相互の啓発に努める。
- 13 民主的な職場運営により、職員相互の意思疎通とチームワークの醸成を図り、全職員の合意に基づく統一した支援に努める。

conversation with

戸次なごみ園 園長 福田和彦



話し手：福田 和彦(=福)

聞き手：A

支援の現場から、「ごめん、ごめん」と言って走って来る福田。

A：忙しいのに、時間作って頂いてありがとうございます。今日はよろしくお願いします。

福：うん、遅れてごめんね。じゃあ、始めようか。

A：では早速ですが、どんな子どもだったんですか？

福：自分で言うのもあれなんですけど、意外とリーダー的な役割をしていた。学級委員とか推薦されて・・・

A：断れなくて？今もずっと？(笑)

福：そう、そう。(笑)

自分の名前にも由来する「和」を大事に大切に、て言ったらすごいね。(笑)みんな仲良くする事が好きかな。外れるような子がいれば、どうにかして中に入れようとしていたかな。

A：そうなんです。チームプレーのようなスポーツをしていたのですか？

福：小学校まで野球をして、中学になって卓球をしました。野球では背が足りなくてレギュラーになれないなあと思って、負けず嫌い、になるのかな。意外と勝負事になると負けず嫌いになるんです。

A：なんか、意外ですね。

福：意外でしょう？自分ではそお思っています。

A：そおだったんですね。(笑)その負けず嫌い、仕事に繋がってますか？

福：負けず嫌いという形は変わったんだけど、この法人に入社して理事長から学んだ「諦めない」「前向きに考える」という言葉が僕の心に残ってて、どうやったらできるのか、できる方法はないのか、という考え方をこの仕事に活かしている。ポジティブ思考ですね。(笑)

A：自閉症の方との出会いは？

福：大学生の頃、自閉症療育の月例会でボランティアとして参加した時が初めてでした。その後、自閉症キャンプに参加しました。最初はなかなか難しいなあ、どうしたらいいのかなあ、とわからない事ばかりだったけど、とりあえずその子の動きに合わせてとことんついて回ろうと思いました。多動な子に付き添って行ったら、「あ、こういう事が好きなんだな。」「これがしたいんだな。」等に気づき、その子の動きに合わせて同じ動きをしてみる、という事で繋がりを感しました。そのキャンプに参加した方が、現在はめぐき園にいらっやいます。

A：そうなんです。自閉症の方と出会ってどんな印象でしたか？

福：最初は驚いたというか、障がいのある方を見ちゃいけない、思ってたんだけど、知らないから目を背けてたんだな、と感じました。でも付き合えば付き合う程、色々な事がわかり興味がわいてきた感じです。

A：支援学校の経験もあると、聞いていますがうちの法人を選んだのは？

福：五十嵐理事長の自閉症療育の理念に感銘を受けて、この法人で働きたいと思い選びました。

A：管理者でありながら、現場にも毎日出ていらっやるんですが、利用者や接する中で大事にしている事はありますか？

福：一番大事にしているのは、「雰囲気」です。明るい雰囲気を保ちながら、利用者の方の思いを共感・受容して、肯定的に対応することを通して関係性を作るようにしています。

A：自閉症の方と出会ってどのくらいになりますか？

福：18歳の時からなので、35年程になります。

A：すごーい！ながーい！奥さんとどっちが長いですか？(笑)

福：えー？うーん、奥さんより、自閉症の人たちの方が長いです(笑)

A：この仕事のやりがいは何ですか？

福：月並みですが、利用者の方と気持ちが通じ合えた時、そーとー嬉しいですね。「福田の言う事を理解してくれてありがとう。」という感謝の気持ちです。

A：めぐき園、らすかる、大分なごみ園、戸次なごみ園、と経験豊かですが、印象深い事業所や、エピソードがあったら教えてください。

福：印象深い事業所とかどれって決められないですね。それぞれに特色があり、エピソードがあります。強いて言うならめぐき園ですかね。業務はびっくりした、というか、・・・大変でした。夜勤を一人でしていたから。あとは、朝の園内清掃の時に掃除をしたくないという方がいまして、押したり引いたりしながら1年ぐらいかかりました。汗だくになりながら、暴れるのをおさめながら、一番、最初の思い出かな。できたときは、大いに褒める事を大事にしていきました。

A：辞めたいと思ったことないですか？

福：えー正直、ないです。ただ、違う部署に移りたいなという思いはありました。

A：どんなベテランの方にも悩みはあると思いますが、どうやって解決してるんですか？

福：同僚に話をしたり、理事長に直接相談に行ったりしました。

A：え！そうなんです。どう答えてくれたんですか？

福：いろいろいい話を、返してくれました。理事長は、すぐ話を聞いていただき、「あなたが今、悩んでいることや難しいと思うことはわかるけど、一生そこにいるわけではないし、違うステージ(現場)や更なる段階に行ったりするから、今できることや気づいたことを学んでから行った方がいいと思うよ。」と物事を肯定的に捉えて、この先について勇気づけられる話をしていただきました。みなさんにとっても感謝です。

A：福田さんと言えば、「ピンチはチャンス」という名言がありますが。

福：言葉ですね。言葉にして出す事で自分を奮い立たせて、ポジティブにしていました。ピンチと考えても何も解決できないし時間の無駄で、チャンスと考えて何が出来るかを考える方がワクワクすると思って。(笑)

(時計をちらっと見て) あーもう、時間が無い。

A：え！もっと、どんなピンチがあって、どうチャンスに変えたのか、聞きたーい！

では、最後にこの仕事をどう捉えていますか？

福：支援する事が仕事です。利用者ファーストです。利用者さんから教えてもらえる、向上させてもらえる、人間性を高めてくれる、素晴らしい仕事だと思っています。ほんと利用者さんには感謝しかありません。あーもうほんと時間が無い！送迎にいかなくちゃ！じゃあ、またね！子どもたちが待っているよ！

——走って車に乗り込む福田。手を振り見送るA。

2018年度 会計処理等取扱指導指針

(単位：円)

貸借対照表	資 産 の 部		負 債 の 部	
	流動資産	288,761,019	流動負債	57,490,967
固定資産	1,198,418,748	固定負債	361,480,976	
		負債の部合計	418,971,943	
		純資産の部		
		基本金	56,415,470	
		国庫補助金等特別積立金	242,967,189	
		その他の積立金	0	
		次期繰越活動収支差額	768,825,165	
		純資産の部合計	1,068,207,824	
資産の部合計	1,487,179,767	負債及び純資産の部合計	1,487,179,767	

資金収支計算書	決 算	
	就労事業による収支	収入
	支出	25,654,978
	就労事業資金収支差額	0
事業活動による収支	収入	945,822,037
	支出	832,058,118
	事業活動資金収支差額	113,763,919
施設整備等による収支	収入	4,141,432
	支出	77,100,809
	施設整備資金収支差額	- 72,959,377
その他の活動による収支	収入	0
	支出	15,592,020
	施設整備資金収支差額	- 15,592,020
当期資金収支差額合計		25,212,522
前期末支払資金残高		237,079,742
当期末支払資金残高		262,292,264

事業活動計算書	決 算	
	就労支援事業収益	
就労支援事業費用		25,631,082
就労支援事業増減差額		23,896
サービス活動増減収益		936,187,520
サービス活動増減費用		876,688,221
サービス活動増減差額		59,499,299
サービス活動外増減収益		9,634,517
サービス活動外増減費用		2,568,392
サービス活動外増減差額		7,066,125
経常増減差額		66,589,320
特別増減収益		134,430,345
特別増減費用		133,232,734
特別増減差額		1,197,611
当期活動増減差額		67,786,931
前期繰越活動増減差額		701,038,234
当期末繰越活動増減差額		768,825,165
その他の積立金取崩額		0
その他の積立金積立額		0
次期繰越活動増減差額		768,825,165

財産目録	資 産 の 部		負 債 の 部	
	流動資産	現金	165,315,218	短期運営資金借入金
	預金	122,167,287	未払金	22,157,421
	商品・製品	93,020	預り金	2,363
	立替金	1,026,921	その他の流動負債	5,307,183
	前払費用	0	合計	57,490,967
	短期貸付金	0	長期設備等借入金	310,484,000
	その他の流動資産	158,573	退職給与引当金	47,177,664
	合計	288,761,019	その他の固定負債	3,819,312
基本財産	建物	736,690,263	合計	361,480,976
	土地	262,234,139	負債の部合計	418,971,943
	預金	0		
	その他の基本財産	0		
	合計	998,924,402		
固定資産	建物	2,005,848		
	構築物	32,812,798		
	車両運搬具	15,796,855		
	器具および備品	31,220,204		
	土地	38,383,089		
	機械装置	12,948,911		
	建設仮勘定	600,000		
	退職共済預け金	47,177,664		
	リサイクル預託金	199,910		
	権利・保証金等預け金	493,640		
	その他の固定資産	17,855,427		
	合計	199,494,346		
資産の部合計		1,487,179,767		
流動負債	短期運営資金借入金	30,024,000		
	未払金	22,157,421		
	預り金	2,363		
	その他の流動負債	5,307,183		
	合計	57,490,967		
固定負債	長期設備等借入金	310,484,000		
	退職給与引当金	47,177,664		
	その他の固定負債	3,819,312		
	合計	361,480,976		
負債の部合計		418,971,943		

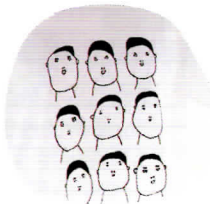


ふしぎなせかいのいりぐちへ



デザイン・撮影 谷 正也

「もえてん」では利用者さんたちの作品をはじめ、Tシャツや作品を使ったグッズなども展示販売しています。可愛らしい作品やワークショップでは段ボールを使って組み立てる体験型アート制作、出張省吾連という企画も行う予定です。今展を機に様々な作品やグッズ等知っていただければ嬉しく思います。



11月1(金)~11月30日(土) 場所 yoiya

多機能拠点
べっふ未来わくわくセンター

11時-21時 / 入場無料 / 定休日なし

お問合せ：0977-77-1610

大分県別府市北浜1丁目1-16

『がんばるもん』 のお知らせ

地域の方々との交流を深めることを目的に今年も令和元年11月3日(日・祝)に「もえぎの郷地域交流祭がんばるもん」を開催いたします。模擬店やバザー、大抽選会など様々なイベントを用意しておりますので、皆様お誘い合わせの上ご来場を心よりお待ちしております。

◆ 協力者御芳名 ◆

- 株式会社 富士設計 代表取締役 和田 繁 様
- 大久保損害保険事務所 様
- 有限会社 久保平自動車 様
- 旭産業株式会社 様
- 有限会社 愛石油 様
- 株式会社 柴田産業 様
- 有限会社 えとう印刷 様
- 久保平 明 様
- 伊美 信長 様
- 秦 正也 様
- 下の原自治会長 坂田 雄治 様
- 橋本 謙二 様
- 堀内 桂輔 様
- 田仲 幸二 様

豊後大野市

障害者支援施設 **めぶき園**(法人本部)
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL 097-578-0818
FAX 097-578-0819
mebukien@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター **らすかる**
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL 097-578-1888
FAX 097-578-0819
rasukaru@moeginosato.net

障がい福祉サービス事業所 **どんこの里いぬかい**
大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
TEL 097-578-0077
FAX 097-578-1226
donko@moeginosato.net

いぬかいこども園
大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
TEL 097-578-0706
FAX 097-578-0710
inukai-hoikuen@moeginosato.net

いぬかい子育て支援センター
ゆうゆうキッズ
大分県豊後大野市犬飼町田原1416番地1
TEL 097-578-0188
FAX 097-578-0166
yuyoukids@moeginosato.net

相談支援事業所 **プラス**
大分県豊後大野市犬飼町田原1416番地1
TEL 097-578-0188
FAX 097-578-0166
plus@moeginosato.net

グループホーム **かわしま**
大分県豊後大野市犬飼町下津尾3706-8
TEL 097-578-0885

ライフサポートセンター **なごみ園**
大分県豊後大野市犬飼町大寒2149番地1
TEL 097-586-8070
FAX 097-586-8071
nagomi@moeginosato.net

こども発達・子育て支援センター
なかよしひろば
大分県豊後大野市犬飼町田原1414番地1
TEL 097-586-8811
FAX 097-586-8818
nakayoshi@moeginosato.net

いぬかいこども園 なかよしホール
大分県豊後大野市犬飼町田原1421-40

大分市

こども発達支援センター **大分なごみ園**
大分県大分市丹生210-3
TEL 097-524-3636
FAX 097-524-3637
oitanagomien@moeginosato.net

こざいこども園
大分県大分市大字屋山1658-6
TEL 097-528-9900
FAX 097-528-9911
kozai@moeginosato.net

大分県発達障がい者支援センター **ECOAL**
大分県大分市中島西1丁目4番14号 市民の権利ビル202
TEL 097-513-1880
FAX 097-513-1890
ecoal@moeginosato.net

戸次なごみ園
大分県大分市中戸次4454-1
TEL 097-578-8323
FAX 097-578-8324
hetsuginagomi@moeginosato.net

編集後記

日増しに秋晴れの清々しく心地よい風が吹く季節となり、令和最初のアシスト vol.17 を発刊することができました。平成に代わる新年号である令和になって初めての発刊となります。「令和最初の～」という言葉を巷では耳にする機会が多くなりましたが、この話題に触れずにはいられません。私も今回の機会を頂き、つい使ってみたくなりました。令和という新しい時代になった気持ちの高まりや期待を胸に、明るい時代になって欲しいと願うばかりです。

私共も、気持ちを新たに、より内容の充実したアシストの発刊が出来るよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

発行者：社会福祉法人 萌葱の郷

大分県豊後大野市犬飼町

下津尾4355-10

TEL 097-578-0818

印刷所：株式会社 エポックアート